

統計メールニュース No.1790(2025.8.29)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。
このアドレスは、配信専用です。このメッセージに返信しないようお願いいたします。

【本日の公表データ】

■「2024 年経済構造実態調査」二次集計結果 産業横断調査(企業等に関する集計)

総務省及び経済産業省は、2024 年 6 月に実施した「2024 年経済構造実態調査」の二次集計結果 産業横断調査(企業等に関する集計)を公表しました。

○2023 年の売上(収入)金額(以下「売上高」という。)は 1930 兆 5669 億円で、売上高の多い産業をみると、「卸売業、小売業」が 521 兆 811 億円、次いで「製造業」が 462 兆 9343 億円などとなっている。

付加価値額は 387 兆 7038 億円で、付加価値額の多い産業をみると、「製造業」が 83 兆 3995 億円、次いで「医療、福祉」が 77 兆 8757 億円などとなっている。

○経済構造実態調査では、各事業区分個別に詳細な費用項目の構成比を把握しており、その一例をみると、「医療業」においては、「給与総額」の構成比が 44.3%となっているほか、「医療業」を対象に把握している費用項目である「薬品費」が 11.5%、「材料費(薬品費を除く)」が 10.5%と、合わせて 2 割以上を占めている。

また、「映画館」についてみると、「映画館」を対象に把握している費用項目である「上映映画料」※が 46.6%となっているほか、「賃借料(土地・建物)」が 16.1%、「給与総額」が 11.0%などとなっている。

※「上映映画料」とは、配給会社に支払う上映権料をいう。

注：上記の調査結果は、調査前年(2023 年)の 1 年間の数値である。

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/kekka/index.html>

□労働力調査、家計調査、小売物価統計調査を始めとした統計調査へのご理解・ご協力をお願いします。

「3 つの調査で、暮らしをよりよく」(統計調査紹介ムービー)

<https://youtu.be/P2AEh0hbFNE>

□「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集中！

令和 7 年 9 月 30 日(火)にリニューアル開講するデータサイエンス・オンライン講座の受講者を募集中です。誰でも無料で学ぶことができます。

今回、全面リニューアルを行い、データサイエンスの理論や手法をビジネス上の事例を想定した演習で反復学習できる構成にしました。新しく生まれ変わった本講座を是非御受講ください。

<https://gacco.org/stat-japan2/>

配信先の変更・配信中止・パスワードの再発行など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関する Q&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

=====

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp